

## Anti human HNF4 $\gamma$ mouse monoclonal antibody

HNF4  $\gamma$  : Hepatocyte Nuclear Factor 4  $\gamma$ 

製品コード PP-N3224-00

Clone No. N3224

Lot. A-1

濃度 1mg/mL

容量 100 $\mu$ L

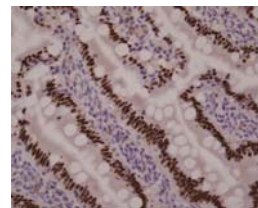
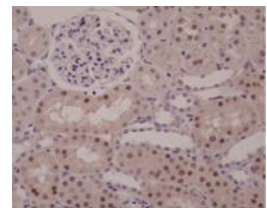
Ig class G2a

Nomenclature NR2A2

Genbank Z49826

**由来** ヒト HNF4  $\gamma$  (96-408 aa) の大腸菌発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

**特異性** ヒト HNF4  $\gamma$  と特異的に反応する。ヒト HNF4  $\alpha$  と反応しない。マウスおよびラット HNF4  $\gamma$  と交差反応する。

**精製法** 硫酸塩析法**溶媒** 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN<sub>3</sub>添加)**Application** 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。**Western Blot** 可  
参考使用濃度 1  $\mu$ g/mL**非還元 Western Blot** 可  
参考使用濃度 3  $\mu$ g/mL**ELISA** 可  
参考使用濃度 0.01  $\mu$ g/mL (A450=1.0)**免疫沈降** 未検討  
参考使用濃度 -**Supershift Assay** 未検討  
参考使用濃度 -**クロマチン免疫沈降** 未検討  
参考使用濃度 -**免疫染色** 可  
参考使用濃度 10  $\mu$ g/mLラット  
小腸粘膜上皮細胞ラット  
腎近位尿管細胞

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献**

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Jun 26, 2019